

7大陸マラソン制覇

琥珀観光の河本社長

7大陸制覇のメダル(左)と南極マラソン完走のメダルを掲げる河本社長



パチンコホールを運営する琥珀観光(本社一宮市森本、電話0586・24・7701)の河本三紀夫社長が、11月に南極大陸で開催された「南極アイスマラソン」に参加し、72歳の過去最高年齢で完走した。今回の完走で、世界7大陸のマラソン大会を制覇した。病気をきっかけに66歳でジョギングを始め「何事も必死に取り組みたい」とフルマラソンに挑戦。7大陸マラソンはいずれも70代で完走し、つわものぞろいの南極マラソン参加者からも賞賛の声が上がった。(一宮)

南極マラソンは2006年から開催。南極点から約1千キロ離れたキャンプ地(標高約9000メートル)という、世界で最も厳しい自然環境で開かれる。今回は世界19カ国から52人が参加(ハーフマラソン参加者含む)。河本社長はフルマラソンに挑戦し、8時間5分15秒で完走した。当日は最低気温マイナス26

南極アイスマラソン 過去最高齢で完走

度、最高気温マイナス14度。服5枚を重ね、靴下と手袋は3枚重ねた。「重装備で氷河



南極マラソンでは7大陸制覇の祝福を受けた(中央が河本社長)

に積もった雪の上を歩くことは不可能。吐く息でゴーグルが曇る中、道なき道を行く。気力だけでゴールした」と振り返る。

それでも「会社を留守にしていた2週間がなんぼついている社員や、家族に対する感謝の気持ち」が支えになった。何より片足に2・3キロの重りを付けてトレーニングしてきた自分自身に込める気持ちがあった。

今回の完走で、北アメリカ(ニューヨークマラソン)、アジア(ソウルマラソン)、ヨーロッパ(パリマラソン)、オーストラリア(ゴールドコ

ーストマラソン)、南アメリカ(リオデジャネイロ国際マラ

ソン)、アフリカ(ケープタウンマラソン)と合わせ7大陸のマラソンを完走。今回、南極マラソン参加者のうち18人が7大陸マラソンを制覇したが、70代はいないという。

ジョギングを始める前は帯状疱疹や腰痛に悩まされた。毎朝のジョギングで体重は10キロ減、病気もなくなった。また「社長が走っているなら」と社員に広がり、今では社内チームでリレーマラソンに出場し好成績を残すまでになった。「全社員が健康」が河本社長の自慢だ。

来年、照準を合わせているのは南アフリカで87キロを走る「コムラッズマラソン」。「常に夢と目標を持ち、無理をしないこと」が信条だ。